

## 2019 年度実施概要

## 学校名

大阪府立園芸高等学校

## 採択活動名

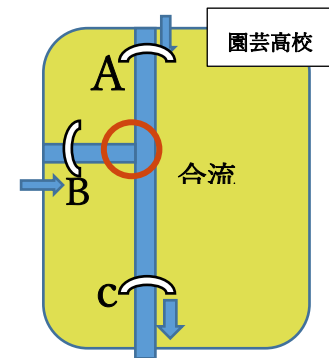
江原川の川ごみ回収活動より海洋汚染を考える

## 取り組みの概要

本校内を準用河川江原川が流れている。この川は池田市街を流れて、2 方向から本校に流れ込み合流した後に、1km 下流にて 1 級河川猪名川と合流する。この河川において、川ゴミの状況を明らかにすることを目的に活動を開始した。池田市の管理下にある河川であり、研究活動の許可を池田市（土木課）より得て、この河川に川ゴミ回収ネットを設置した。

川ゴミ回収ネットは、河川・海環境に関係する企業谷口商事の協力得て、試作品を製作してもらい、2019 年 8 月より A 地点で川ゴミの回収実験を開始した。計画では A・B・C の 3 か所に川ゴミ回収ネットを設置する予定であったが、川ゴミ回収ネットが市販されておらず、提供されたサンプルを用いて A 地点でのみ回収実験を行った。川ゴミの回収・分類は月に一度実施した。また月に一度、学校内の河川域でのゴミ回収活動を行った。回収ネットの目は 5cm 角であり、A 地点でこの回収ネットに引っかかる大きなゴミは回収できた。しかし B から流れ込むゴミは回収できなかった。月に一度、本校内の河川域のゴミを回収する活動を行ったが、多くのゴミを回収した。この活動でネットで回収できなかった小さなゴミ（ペットボトルのフタやたばこのフィルター等）を拾ったことで、活動におけるゴミ回収のデータは不正確なものになった。

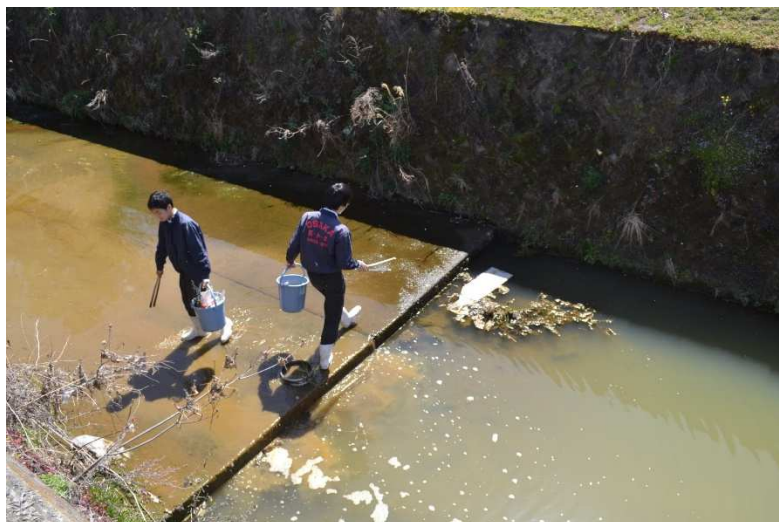
しかしこの活動において、ゴミ回収ネットが有効であり、改良を加えて 2020 年 3 月には製品が完成して納品された。今後はこの回収ネットを使用して、ネットの改良を加えながら実験を継続する予定である。川ゴミ回収ネットは一般には販売されておらず、本校の取り組みはパイオニア的活動として認知されることが期待される。また身近な川での川ゴミ回収活動を通して、生徒は川ゴミの現状を理解した。今後の発展した活動が期待される。



## 活動中の写真



ゴミ回収ネットより、川ごみの回収作業（2019. 11. 15 実施）



雨後の江原川にて、川ゴミ回収作業を行う（2020. 2. 14）



回収した川ゴミ（2020. 2. 14）

実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. 農業生産と環境保全の基礎